

# 校 園 別 研 究 目 標

「校園別研究目標」は、校種別に各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動などの課題を示したものである。

学習指導に当たっては、幼児・児童・生徒一人一人の実態を的確に把握し、個々の状況に応じた指導・支援を行うために、学習活動、学習形態、評価方法及び教材・教具などを工夫することや、幼児・児童・生徒一人一人が意欲をもって自ら考え、判断し、表現できるような指導方法・指導体制の工夫改善を図り、学び方を身に付け、学ぶ楽しさを実感できる授業の展開に努めることが重要である。

また、小中一貫した教育をはじめとする校種間連携を一層推進するため、全ての教科・領域において、校種間の円滑な接続を図るための研究に努めることが大切である。

なお、新しい教育要領、学習指導要領が平成 30 年度より各校種で順次完全実施されていることに伴い、各校園において適切に教育課程が編成され、実施されるよう研究に取り組むことが大切である。

## ◇ 幼 稚 園

### (1) 総 合 目 標

幼児が、幼児期にふさわしい環境の中で主体的に活動しながら、知識及び技能の基礎、思考力・判断力・表現力等の基礎、学びに向かう力・人間性等を培い、「知・徳・体」のバランスのとれた生きる力を育むために、実践を通じた研究を進める。また、幼稚園での様々な活動が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、未来を拓く心豊かななわっ子を育む、幼稚園教育の在り方を考える。

### (2) 具 体 的 目 標

ア 健やかで幸福な生活のための基本的な習慣や態度を身に付け、心身の調和的発達を図るために、健康な心と体を育て、進んで体を動かし、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を育むための指導の在り方について研究する。

イ 家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うために、いろいろな人々と親しみ、支え合う集団生活を通して、自立心を育み、人と関わる力を育むための指導の在り方について研究する。

ウ 身近な環境や生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する理解と態度及び思考力の芽生えを養うために、周囲の環境や社会生活に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を育むための指導の在り方について研究する。

エ 日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養い、経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現する意欲を育み、言葉に対する感覚を豊かにする指導の在り方について研究する。

オ 多様な体験の中で、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性と表現力の芽生えを養うための指導の在り方について研究する。